

<STEP2 事例 優先度の高い環境行動の実施>

専門家からの提案で効果的に省エネ（協同組合日新電機協力会）

Q 取り組みの背景・きっかけ

A

- ・消費エネルギーは製品価格にはねかえり、また、環境対策の面でも重要であるため、日新電機㈱と当協力会が共に様々な経営課題解決に取り組む「スマート活動推進協議会」を通じて、サプライチェーン全体で省エネ活動を進めていくことになった。
- ・日新電機㈱の協力企業で構成する当協力会では、同社のサポートを受けながら、初年度は3社の組合員が専門家による「省エネ・節電・EMS 診断」を受け、空調設備更新の提案を受けた。



Q 取り組みを進める上で工夫したこと・苦勞したこと・利用した施策

A

- ・空調設備を更新した結果、1社は消費電力量が対前年比15%減を達成した。また、残る2社も、適宜、補助金を活用して照明や生産設備を更新し、費用対効果の高い節電対策を実現した。
- ・「中小事業者の高効率機器導入促進事業補助金（京都市）」「省エネルギー投資促進支援事業費補助金（経済産業省）」等の公的支援制度を利用した。
- ・当協力会は異業種で構成されており業態・規模も異なるため、共通的な対策を講じることは難しく、協力会として活動のプライオリティを考え具体的な取り組みに至る迄に時間を要した。



Q 取り組みの成果とメリット

A

- ・今回の省エネ診断を受けて経営課題解決に繋がった事例は、環境対策において当協力会の組合員に対し大きな波及効果を生むものとする。
- ・今後、環境問題に対する事業所の意識は、商取引において非常に重要視されることが予想されるため、サプライチェーン全体でCO₂削減をはじめ環境問題に真摯に取り組むことが、市場競争力の強化、企業価値の向上にも繋がる重要な活動テーマと考えている。

協同組合日新電機協力会（理事長 安藤源行）

京都市右京区、組合員数：29社、組合員の事業内容：製造業

(<https://www.nissin.or.jp/>)